

2011.6.22
 本報

タンク「レベル3」規制委検討

東京電力福島第一原発のタンクから高濃度汚染水が漏れた問題で、原子力規制委員会から「レベル3」とす

は二十一日、国際評価尺度（INES）の暫定評価を「レベル1」と明らかにした。レベル3は数千テラの放射能の放出、安全設備が

原子力事故の国際評価尺度

レベル	具体例
7 (深刻な事故)	旧ソ連のチェルノブイリ事故 (1986年) 福島第一原発事故 (2011年)
6 (大事故)	
5 (所外へのリスクを伴う事故)	米スリーマイルアイランド事故 (79年)
4 (所外への大きなリスクを伴わない事故)	東海村臨界事故 (99年)
3 (重大な異常事象)	東海再処理施設火災爆発事故 (97年) 美浜2号機蒸気発生器細管破断事故 (91年) 東日本大震災の津波による女川原発2号機の浸水 (11年)
2 (異常事象)	もんじゅナトリウム漏えい事故 (95年) 美浜3号機死傷事故 (04年) 東海村加速器事故 (13年)
1 (逸脱)	第一原発タンクからの汚染水漏れ
0 (尺度以下)	



引き上げ

残されていない事故寸前の状態などが該当。一九九七年に発生した東海再処理施設火災爆発事故がこの評価だった。

INESは、原発など原子力施設で発生したトラブルの規模や深刻度を示す世界共通の物差し。国際原子力機関（IAEA）などが設定した。レベル1〜3は「異常な事象」、レベル4〜7は「事故」。施設内の汚染度合いや安全設備の状態などを評価基準とし、各国の規制機関が評価する。